

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

つるバラが庭に咲き出し夏来る

車二台のアーチとなりて

●宮古市 太田屋滋

街角で声を掛けられ挨拶を

どなたでしたか名前が出ずに

●狛江市 根方一吉

三日月にまんまる月に残月に

両の掌もろて合あわす人も減りたり

●東京都神津島村 石田希代子

むし暑き花火帰りのエレベーター

香り残せり浴衣の乙女

●平塚市 田中博由

我妻の老い行く姿見るにつけ

愛しさが増す今日此の頃

●四日市市 河合 勲

歌出あい季節の移ろい横におき

普段のくらしときめきを詠む

●香芝市 高田尚昭

俳 句

青々と田畑豊か梅雨間近

●仙台市 菱沼俊行

蕎麦咲いて稲妻はしりり白き波

●神栖市 安澤宏介

まさなる利根の河原や風薫る

●本庄市 入 利雄

潮干狩小学生の声響く

●草加市 長谷部禎子

尺蠖しゃくとりに譲る手すりを離しけり

●戸田市 篠崎志津子

通り雨滴の中に虹を見る

●東京都葛飾区 東海洋一

五月晴れ老いて楽しむ車窓旅

●武蔵村山市 原野晴光

指で押し追熟確かめメロン買ふ

●長岡市 近藤 博

梅雨時の花はやっぱり長谷の寺

●中野市 高木武彦

ペダルこぎ春の坂道老いを知る

●塩尻市 大家協治

よしきりや湖靄の晴れ水鏡

●塩尻市 奥原光夫

亡き母とロゼで乾杯母の日に

●塩尻市 清澤美恵子

四ツ手網水の匂ひの空のこる

●塩尻市 町田まさ子

蛍灯ほたるびが我が故郷に乱舞する

●綾部市 岩瀧憲一

新緑の参道広がる青紅葉

●長岡京市 宮先一雄

湧き水や七変化する花の色

●門真市 藤岡春男

抜きもせて十葉の庭愛でてをり

●伊丹市 磯部芳子